

愛 恵 会 だより

2019年春号





やわらかな陽射しの中で、子どもたちは毎日お散歩や外遊びを楽しんでいます。当院では日々色々なことが起きますが、着任して1年がたち印象深かったことがいくつかあります。

まず、生後5日の赤ちゃんの入所です。生後間もない子は、実親が里子や養子に出して欲しいという場合が少なくありません。次に、深夜1時に電話での入所依頼、未明の3時4時の緊急一時保護入所です。年度初めの入所率が6割と空きが多かったことから、一時保護の入所が相次ぎ年間で46人もの一時保護を受け入れました。

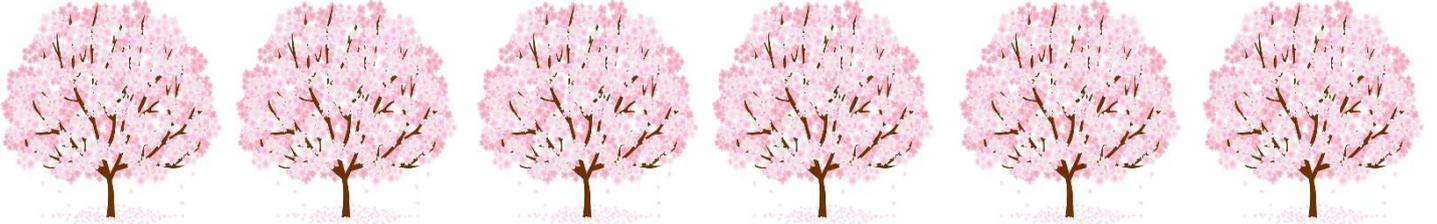
職員の新人育成プログラムが、過保護ではないかと思うほど丁寧でした。

施設予算では、もっと増やしてもよいのではないかと思う費目がありました。新年度予算編成では、ホームを担当する職員の意見を取り入れて、衣類費、外出行事費などの子どもの生活に関わる予算を増やしました。また、職員処遇では夜勤手当などを、都内他施設を参考にして改善しました。

今年度は、休止していたそらホームを再開して、施設入所とショートステイの体制を拡充しました。理事会、職員が心を一つにして、社会の要請に応えられる施設としてより充実させるよう尽力していきます。皆様の温かなご理解とご協力を心からお願い申し上げて、挨拶をさせていただきます。

施設長挨拶

愛恵会乳児院
施設長黒田邦夫



3月26日、各ホームでお花見イベントを行いました。



うみホームでは、大きい子が歩いてマクドナルドまで行き子ども達の方と職員の方の昼食を買いました。普段見ない注文の様子に興味津々。ちょっとした社会経験になりました。小さい子は散歩車に乗り西松屋へお買い物。後期食の子の離乳食や沢山のお菓子を買いました。帰り道では長い下り坂をアンパンマンのお菓子を持って必死に歩いていました。



桜はまだまだ咲いていなかったけれど、一日を通していつもと違う雰囲気を楽しむ事ができました。



お花見



もりホームでもお花見イベントを行いました。大きい子が丘の上にあるスーパーまで昼食のお買い物に行き、パンやフルーツをいっぱい抱えて誇らしげに帰院。目の前で焼けたピザ、ぶどうやおせんべいなどみんなでわいわいと囲んで食べるなど、いつもと違う雰囲気を楽しみました。

パン屋さんで買ったパンを職員に見せ、「みて！ぱんださんだよ！」パンダの柄を教える子もいました。自信につながる経験になったのかなと感じる場面でした。



IMPORTANT NOTICE

職員を大幅増員しました

今年度より、事業拡大等に伴い職員を大幅に増員しました。

- ショートステイベビーC o C oのための職員配置
- 小規模養育ケアのための職員配置
- 児童定員増のための職員配置
- 基準外の職員配置

上記等の理由により、14名が新たに入職しました。

以下に職員の紹介をいたします。

記載事項

- ・名字（ひらがな）
- ・愛恵会を選んだ理由
- ・今後の意気込み

ひよこホーム

- ・やまうち。町田市にありピカピカの建物が素敵だったから。
自分のペースで、しっかりと頑張りたい。
- ・いちなり。素敵な雰囲気です。アットホームだったから。
子どもの個性を理解し、安心できる環境を作りたい。
- ・いいの。自然に囲まれ落ち着いた雰囲気だったから。
子どもを温かい雰囲気です包み込むような養育をしたい。

そらホーム

- ・さいとう。アットホームで地域交流ができるから。
要領悪いが、精一杯頑張る。
- ・はしもと。子どもとともに成長したかったから。
笑顔と楽しむことを忘れずに、多くを学び成長したい。
- ・むらい。基本理念に好感を持ったから。
子どもとともに、発見や体験をして成長したい。

もりホーム

- ・あらかわ。優しく子どもを思う気持ちが伝わってきたから。
元気に明るく過ごし、歌や絵本を保育に活かしたい。
- ・ふじはし。設備が整い、素敵な施設だったから。
自分にできることを、一生懸命取り組んでいく。
- ・かざま。職員のあたたかさに感動したから。
子どもの負けないくらい、元気いっぱい頑張りたい。

うみホーム

- ・たしろ。説明会に参加して決めた。
子どもが幸せに過ごせるように頑張る。
- ・なかむら。運営・養育方法に魅力を感じたから。
子どもの気持ちを受け止めながら、楽しく笑顔で働きたい。
- ・すがの。長く働けそうだと直感的に感じたから。
笑顔を大切に、一生懸命子どもと向き合いたい。

家庭支援専門相談員

・あんどう。地域支援に力を入れていると感じたから。人並みに仕事ができるように頑張りたい。

里親交流支援員

・さとう。人としての根本に関わる乳幼児期に携わる仕事がしたかったから。根を詰めずゆるゆると、かつしっかりと働きたい。

こどもの日

5月5日、感染症のためこどもの日イベントを各ホーム内で行いました。うみホームでは大きな兜をかぶり、五月人形と一緒に写真を撮りました。大きすぎる兜に啞然となり表情が固くなる子もいましたが、珍しい五月人形を目の前にして釘付けになっていました。

お昼ご飯はピュッフェ形式でした。子どもたちは大好きなイチゴやメロンに大興奮！お弁当箱に自分の食べたい物を詰め、テラスまで大事に運びました。ピクニック気分で、お腹いっぱい食べました。子どもたちにとって、良い思い出になったようです。



保護者の病気や出産、家族の介護などで一時的に養育ができなくなったときに利用できる宿泊を伴うサービスで、平成30年10月から開始したサービスです。

利用するには事前登録が必要となります。

ご利用を希望される場合は町田市子ども家庭支援センター042-724-4419へご相談ください。

対象者

次の要件を全て満たす方

- ・町田市に在住、かつ、町田市に住民票がある方
- ・生後3か月から2歳未満までの方
- ・事前に子ども家庭支援センターで利用登録をした方

受け入れ時間

16時から翌日10時まで ※送迎はありません。

利用できる期間

1回につき7泊まで

費用

1泊2日 6000円

※市民税非課税世帯、生活保護受給世帯は、年間7泊（入院要件での特例あり）まで費用の減額制度があります。



乳児



離乳食を食べミルクを飲んだら、10 時頃から体調の良い子どもは外気浴に出掛けます。公園にレジャーシートを敷きお座りや腹這いで遊んだり、花や草を触り今の季節を楽しんでいます。大きなお兄さんやお姉さんがいると、動く様子をくぎづけで見たりもします。帰り道ではバギーの揺れが心地良いのか気持ち良さそうに眠っている事が多いです。お部屋へ戻ると、外は花粉が飛んでいたりするので子ども達の肌が荒れない様に濡れたガーゼで顔を拭きます。その後眠くなった子どもから順次午睡へ。起きた子どもから、フロアで遊び始めます。歯固めや音の鳴る玩具、電池



で動く犬の玩具が最近のお気に入りです。ずり這いやフロアに手を付き後方に上手に下がる事が出来る子どもが増え、動きも盛んになっています。

15 時位からお風呂に入ります。お風呂に浸かるのはみんな好きで、嫌がらずに入る事が出来ます。手を動かして湯船のお湯の感覚を楽しんだりもしています。

幼児

寒い季節から暖かい季節になり、近隣の公園への散歩や、乳児院裏の川沿いに咲いている花を眺めながら、春を満喫しています。最近の楽しみは、てんとう虫探しと、シャボン玉。てんとう虫は一度発見すると、「てんとうむしさん！」とずっとてんとう虫の様子を観察しています。シャボン玉は、月齢が高い子どもたちは、自分たちで持って吹くことができるようになりました。まだ自分たちで出来ない子どもたちも、飛んでくるシャボン玉を見て、元気よく追いかけて楽しんでいます。

また、現在食育の一環として、幼児ホームの前にプランターを設置し、トマト、キュウリ、カボチャの三種類を育てています。当院栄養士指導のもと、種まきをしたり、自分たちで日々の水やりをしたり……。部屋から見える位置に置いてあるため、子どもたちも興味津々で植物の成長を楽しんでいます。

その後自由遊びをして 19 時頃に寝ます。どんな夢を見ているのでしょうかね。



C o C o 広場

2019年度（上期）開催予定

- ・ 6月18日（火）
- ・ 7月16日（火）
- ・ 8月20日（火）
- ・ 9月17日（火）
- ・ 10月15日（火）～白山公園に秋の遠足

場所：愛恵会乳児院 旧棟

時間：10:00～12:00

ご寄付感謝申し上げます

- ・ ネイルサロンR o u n G e 町田店様
- ・ 古川善朗様
- ・ 高嶋ちさ子12人のヴァイオリニスト様
- ・ Y様
- ・ W様

上記以外の方にもボランティア、物品提供等でご協力いただいております。

広報委員

小林（由）、渡邊、池内、橋本、
長谷川、小林（高）

責任者 黒田

2019年5月31日

